

会場(酪農学園大学)までの交通手段

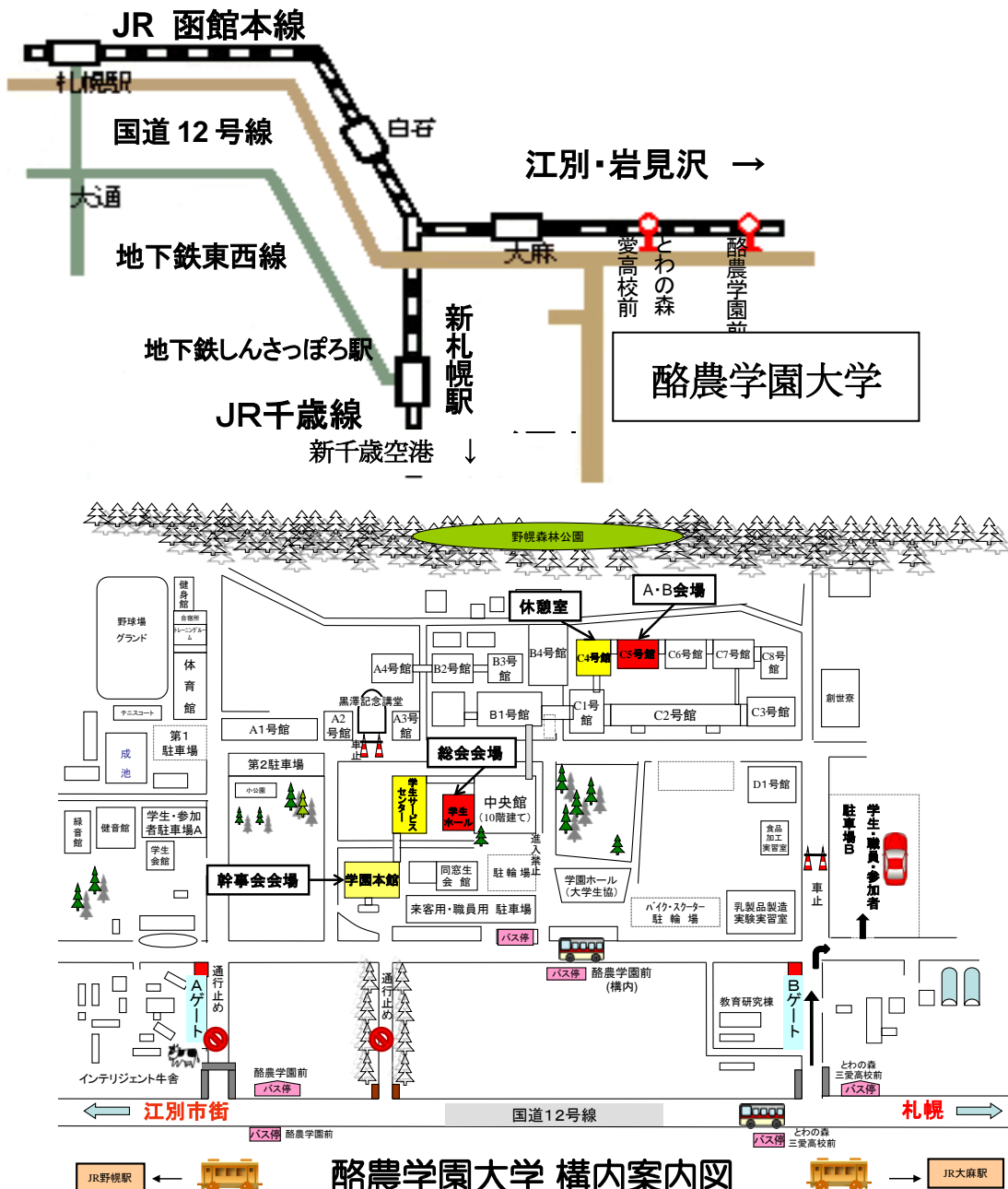
千歳空港から (新札幌バスターミナルからバス)

JR 快速エアポートで新札幌下車、新札幌バスターミナル北レーンの「JR バス 10 番のりば」「夕鉄バス 12 番のりば」の野幌・江別・岩見沢方面行きに乗車し (約 20 分)、「とわの森三愛高校前」で下車。(徒歩約 10 分)

※ 夕鉄バスの酪農学園構内経由便は大学構内のバス停に停車します。

札幌駅から JR

函館本線 江別・岩見沢方面行きの「普通」または「快速いしかりライナー」に乗車 (12~15 分)、大麻駅下車、大麻駅南口から 徒歩約 15~20 分。



大会に参加・講演される方へ

研究班等集会・幹事会 (4月5日(金) 於 C5号館・学園本館)

1)受付は4月5日(金)12:30よりC5号館1階にて開始します。大会に参加される方は、受付にて名札等をお受け取りください。研究班等集会にのみ参加される方は、そのまま会場にお入りください。

2)研究班等集会会場はC5号館です。

殺虫剤研究班 (C5-301会場)

生理分子生物談話会 (C5-202会場)

ダニ類研究班 (C5-201会場)

アブ研究会 (C5-303会場)

3)幹事会は16時00分より学園本館4階第2会議室で行います。

第65回日本衛生動物学会大会 (4月6日(土)・7日(日) 於 C5号館・学生ホール)

1)受付は、4月6日(土)8:30よりC5号館1階にて開始します。

2)参加費・懇親会費納入済みの方は、事前登録受付で名札・領収書等をお受け取りください。

なお、2月1日以降に納入された方で振込額が不足している場合は受付で追加徴収させていただきますのでご了解ください。

当日参加の方は、受付にて会費を納めて名札等をお受け取り下さい。(一般5,000円、学生2,000円)

3)懇親会は、4月6日(土)19:00よりサッポロビール園にて行います。

(シンポジウム終了後、シンポジウム会場から無料バスで移動しますので必ずご利用ください。)

懇親会参加申込をされた方で懇親会費未納の方は大会会場受付でお納めください。当日も参加を受け付けますので、懇親会参加費を大会会場受付でお納めください。(会費7,000円)

4)4月6日(土)の昼食は、生協食堂をご利用ください。

5)休憩室は、C4号館2階にご用意しましたのでご利用ください。アイスクリーム、ヨーグルト、ソフトカツゲンをお受け取りください。

6)キャンパス内は、全域完全禁煙です。禁煙にご協力ください。

7)会場内の連絡、電話の取り次ぎや呼び出しは一切行いません。参加者間の連絡などは、受付付近の「伝言ボード」をご利用ください。会場内では、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定し、講演の妨げにならないように十分注意してください。

8)駐車場Bが利用できますが、自家用車での来学は、できるだけご遠慮ください。

講演時間・発表用スライド他について

- 1) **講演時間**： 1講演あたり 10分を厳守願います。予鈴 7分（ベル1回）、本鈴 8分（ベル2回）、終鈴 10分（ベル3回）で時間をお知らせします。
- 2) **座長**： 講演終了者には、次の講演の座長をお願い致します。忘れずに座長席にお移りください。朝一番および休憩後の最初の講演の座長は大会役員が対応します。なお英語で発表される方の座長については、必要に応じて会場の役員にご相談ください。
- 3) **発表用スライド**： 発表用スライドは WindowsXP 環境で動作する PowerPoint2003 でご用意ください。これ以外の動作環境で作成された場合は、事前に上記環境で動作することをご自身でご確認してから下記に従いお送りください。
- 4) **発表用ファイルの送付**： 電子メールに添付して、大会事務局(eidou@rakuno.ac.jp)へ 3月 29日(金)必着で送付してください。ファイル名には講演番号(A、B、S、+数字 2桁)と氏名を半角アルファベットで入力してください(例:A01Sasaki)。CD-R を郵送する場合には大会事務局宛に 3月 29日(金)必着でお送りください。なお CD-R と PowerPoint ファイルは、大会終了後に会場係が責任を持って消去及び廃棄いたします。
- 5) **発表用ファイルの変更**： 大会当日のファイルの受け付けや変更の受付はいたしません。
- 6) **講演中のパソコン操作**： 講演中のパソコン操作(スライド送り)は発表者ご自身でお願いいたします。講演では、プレゼンテーション用レーザーポインターを使用していただきます。このポインターは、スライドショーのコマ送りとレーザーポインターの機能を兼ね備えています。下記の説明を参考に操作を覚えておいてください。

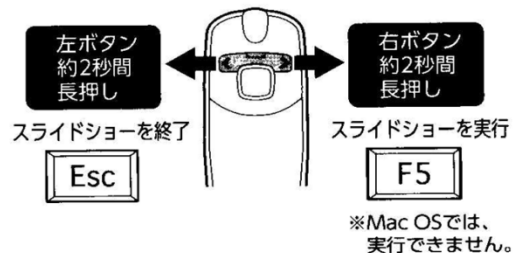
●スライドショーの実行/終了

実行のしかた

右ボタンを約2秒間長押ししてください。
(キーボードF5と同じ)
※Mac OSでは、実行できません。

終了のしかた

左ボタンを約2秒間長押ししてください。
(キーボードEscと同じ)



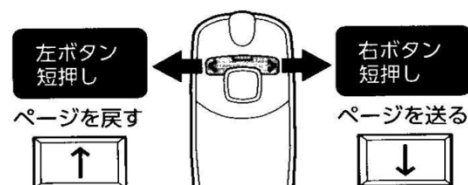
●スライドのページ送り/戻し

ページの送りかた

右ボタンを押してください。
(キーボード↓と同じ)

ページの戻しかた

左ボタンを押してください。
(キーボード↑と同じ)



- 7) **講演資格**： 一般講演は、学会員でないと発表できません。現在発表者で学会員でない方は、3月 22日(金)までに下記の学会事務局にて入会手続きをお済ませください。

〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5階

CANPAN センター ACNet 事務局 日本衛生動物学会入退会・変更届担当係

Tel. 03-6229-5104、 fax. 03-6229-5116、 email ac038-jsmez@canpan.org

4月6日(土)

A 会場

- 9:10 A01 成田国際空港におけるネッタイシマカの侵入事例について
○助廣那由, 木田中, 梅澤昌弘, 村上隆行, 荒井直子, 神内恒貞, 稲垣俊一, 土屋英俊, 丸山浩, 津田良夫
- 9:20 A02 和歌山県におけるシロハシエカ *Culex pseudovishnui* の分布報告
○今西 望, 杉山 章, 糸山 享, 沢辺 京子
- 9:30 A03 中央高地型気候地域におけるヒトスジシマカの分布とその要因 1) 長野県上田市、長野市の調査結果に焦点をあてて
○平林公男, 武田昌昭, 二瓶直子, 小林睦生, 沢辺京子
- 9:40 A04 京都市におけるアカイエカとチカイエカの捕集数および構成比の空間差異
○米島万有子, 前田秋彦, 福田美樹, 伊藤亜希, Igor Velado Fernandes, 津田良夫, 渡辺 護, 二瓶直子, 小林睦生, 中谷友樹
- 9:50 A05 沖縄本島の市街地及び水田地帯でのライトトラップによる蚊の採集調査
○玉城美加子, 當間孝子, 宮城一郎, 万年耕輔, 荒木善光
- 10:00 A06 琉球列島・西表島の森林内湿地で採集したチビカ属(*Uranotaenia*)の1未記録種
○宮城一郎, 當間孝子, 玉城美加子, 平良勝也
- 10:10 A07 ネッタイシマカの発生環境と亜種構成
○二見恭子, Gabriel D. Owino, Peter Lutiali
- 10:40 A08 ミクロネシア連邦コスラエ州のコスラエ島における蚊の調査成績
○野田伸一, 當間孝子
- 10:50 A09 マレーシア, サラワク州の竹林に生息する蚊
○岡澤孝雄, Wong Siew Fui, 宮城一郎, 當間孝子, Leh Moi Ung
- 11:00 A10 石川県内豚舎周辺での蚊発生状況調査と日本脳炎ウイルス分布(2009-2012年度)
○村上 学, 及川陽三郎, 上村 清, 竹上 勉
- 11:10 A11 *Aedes* 蚊唾液腺抽出物によるチクングンヤウイルス感染ケラチノサイトへの影響
Orapim Puiprom, Ronald Enrique Morales Vargas, Rutcharin Potiwat, Panjaporn Chaichana, 生田和良, Pongrama Ramasoota, ○岡林環樹
- 11:20 A12 *Anopheles lesteri* と *An. paraliae* の遺伝的関係について
○大塚靖, Kritsana Taai, Sorawat Thongsahuan, Mi-Hyun Park, Gi-Sik Min, 福田昌子, Pradya Somboon, Visut Baimai, Wej Choochote
- 11:30 A13 日本・台湾産 *Tripteroides bambusa* の COI 遺伝子領域の塩基配列の解析
○當間孝子, 平良勝也, 玉城美加子, 宮城一郎, 津田良夫, 水田英生, 岡澤孝雄
- 11:40 A14 琉球列島における病原媒介蚊を含む3属37種の同定のためのDNAバーコーディング
○平良勝也, 當間孝子, 玉城美加子, 宮城一郎
- 11:50 A15 Validation of RNA-seq Data Using qRT-PCR
○Lucky R. Runtuwene, Shuichi Kawashima, Yutaka Suzuki, Sumio Sugano, Kenta Nakai, Ryuichiro Maeda, Chihiro Sugimoto, Tomohiko Takasaki, Ichiro Kurane, Takashi Kobayashi and Yuki Eshita
- 12:00 A16 Genetic and Phenetic Relatedness between *Aedes albopictus* Populations from Japan and Southeast Asia
○ Ronald E. Morales Vargas, Jiraporn Ruangsittichai, Narumon Komalaminsra, Noppawan Phumala Morales, Takashi Tsunoda, Jean Pierre Dujardin

B会場

- 9:10 B01 冬季に活動期を迎えるオオクロバエの脂質について
○森林敦子, 田中康仁, 駒形 修, 倉橋 弘, 沢辺京子
- 9:20 B02 外来鳥獣類から見出された外部寄生虫 (概要紹介)
浅川満彦
- 9:30 B03 韓国のシラミバエ科について : *Crataerina* 属の1新種とファウナ
○岩佐光啓, Chang-Yong Choi
- 9:40 B04 水銀灯, LED および無電極ランプの走行性昆虫に対する影響
○山崎穂菜美, 岩佐光啓
- 9:50 B05 北アルプス常念岳において腐肉トラップに誘致された甲虫類の垂直分布と季節消長
○上村 清, 林 靖彦
- 10:00 B06 ヤマトゴキブリ, 札幌市にも生息する
○青山修三, 青山達也, 間瀬信継, 佐々木均
- 10:10 B07 フィプロニルベイト剤の二次効果に関する研究
○児玉達治, 佐野智生, 亀崎宏樹, 上村慎一郎
- 10:40 B08 蚊の唾液の効果に関する研究
○青柳誠司, 高柳弘輝, 漆畑雄也, 宋 宏通, 小倉昌史, 宮崎寛之, 高橋智一, 鈴木昌人, 神崎 努
- 10:50 B09 サシチョウバエ唾液腺由来 RGD ペプチドによる血小板凝集阻害
○加藤大智, 藤田恵, 櫻井達也, 片倉賢, 橋口義久
- 11:00 B10 木曾川中流域における最近の冬季エリユスリカ類について
近藤繁生
- 11:10 B11 牛乳頭腫症の発生拡大における双翅目昆虫の関与と媒介種の探索
○紫藤夢野, 岩佐光啓, 畠間真一
- 11:20 B12 イノシシに寄生する *Onchocerca* sp. の成虫のミトコンドリア遺伝子の解析
○福田昌子, 宇仁茂彦, 大塚 靖, 高岡宏行
- 11:30 B13 ブユ幼虫後腸寄生菌 *Simuliumomyces microsporus* (Harpellales) の日本初記録
佐藤大樹
- 11:40 B14 Distribution and abundance of black flies (Diptera: Simuliidae) in two recreation parks in Selangor State, Peninsular Malaysia
○Chee Dhang Chen, Hiroyuki Takaoka, Koon Weng Lau, Van Lun Low, Cherng Shii Leong, Huey Min Karen-Chia, Mohd Sofian-Azirun
- 11:50 B15 富山市近郊の山間地におけるアブ類の発生調査
○渡辺 護, 山内健生
- 12:00 B16 群馬県の牧場におけるトラップによるアブ捕獲の効果
白石昭彦
- 12:10 B17 北海道幌延町営牧野南沢団地の吸血性アブ類
○May Thet Hnin Oo, 吉田竜樹, 佐々木均

学生ホール

13:30 総会

14:10 学会賞・佐々賞 授賞式

14:25 佐々賞受賞講演

CDC 型ミニチュアライトトラップによるコガタアカイエカ捕獲個体数とトラップ周囲の土地利用との関連性 米島万有子(立命館大学大学院文学研究科地理学専修)

14:50 学会賞受賞講演

マラリア媒介蚊から学んだこと 皆川 昇(長崎大学)

15:30-17:45 シンポジウム I 「トコジラミにどのように対処するかー最前線を探るー」

座長 渡辺 護(酪農学園大学大学院、感染研・昆虫医科学部)

15:35 S11 トコジラミ刺症の臨床的特徴

夏秋 優(兵庫医科大学皮膚科学)

15:55 S12 日本のトコジラミの殺虫剤抵抗性の現状

○富田隆史, 駒形 修, 糸川健太郎, 葛西真治(国立感染症研究所昆虫医科学部)

16:15 S13 日本における蔓延とその被害の現状

渡辺 護(酪農学園大学大学院、感染研・昆虫医科学部)

16:35 S14 Bed bug problem of Thailand

○Apiwat Tawatsin¹, Usavadee Thavara¹, Jakkrawarn Chompoonsri¹, Padet Siriyasatien²
(¹National Institute of Health, Thailand, ²Dept. of Parasitology, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University)

16:55 S15 最近の米国におけるトコジラミ研究と対策

平尾素一(環境生物コンサルティング・ラボ, (公社)日本ペストコントロール協会)

17:15 総合討論

17:45 終了

18:00 懇親会会場(札幌ビール園)へバスで移動

札幌ビール園

懇親会

19:00 開会

21:00 閉会

4月7日(日)

A会場

- 9:00 A17 ハノイ市内における冬期のネッタイシマカ及びヒトスジシマカの成虫の活動
○角田 隆, Tran Chi Cuong, Tran Duc Dong, Nguyen Thi Yen, Nguyen Hoang Le, Tran Vu Phong, 皆川 昇
- 9:10 A18 ベトナムにおけるデング熱媒介蚊のモニタリング調査 (2010年および2011年)
○比嘉由紀子, Nguyen Thi Yen, Tran Hai Son, Tran Duc Dong, Vu Ngoc Thuy, 都築 中, Nguyen Hoang Le, Tran Vu Phong, 皆川 昇
- 9:20 A19 西ケニア地区における *An.gambiae s.s.* の kdr 遺伝子の出現について
○川島恵美子, Gabriel O. Dida, 二見恭子, 川田 均, 皆川 昇
- 9:30 A20 サルマラリア伝播の数理モデル
砂原俊彦
- 9:40 A21 ケニア西部におけるマラリア媒介蚊のピレスロイド感受性に関する調査 (7) 第4のベクター *An. rivuroloium* の重要性についての再考
○川田 均, G. O. Dida, G. Sonie, S. M. Njenga, C. Mwandawiro, 皆川 昇
- 9:50 A22 ケニア西部におけるマラリア媒介蚊のピレスロイド感受性に関する調査 (8) LLIN (オリセツト®ネット) の使用が主要3種のベクターに与えるインパクトについての考察
○川田 均, G. O. Dida, G. Sonie, S. M. Njenga, C. Mwandawiro, 皆川 昇
- 10:00 A23 Evaluation of insect growth regulators (IGRs) against field collected *Aedes aegypti* (Linnaeus) from Malaysia
○Koon Weng Lau, Chee Dhang Chen, Han Lee Lim, Mohd Sofian-Azirun
- 10:10 A24 フェニトロチオン乳剤のヒトスジシマカ成虫に対する墓地における野外試験
○數間亨, 足立雅也, 武藤敦彦, 皆川恵子, 橋本知幸, 池田文明, 渡辺登志也, 豊田耕治, 宮本和代, 今坂宏章, 芳村健治
- 10:20 A25 フェニトロチオンフロアブル剤のヒトスジシマカ成虫に対する野外試験結果
○宮本和代, 皆川恵子, 數間亨, 今坂宏章, 渡辺登志也, 武藤敦彦
- 10:50 A26 岩手県震災瓦礫集積所におけるハエ類発生状況調査 (2012年)
○林 利彦, 菊池恭志, 木村文彦, 小林睦生, 沢辺京子
- 11:00 A27 東日本大震災の津波被災市街地における蚊幼虫および成虫の発生状況
○小林睦生, 斉藤一三, 津田良夫, 沢辺京子
- 11:10 A28 東日本大震災被災地における2年目の蚊の発生状況
○渡辺 護, 渡辺はるな, 沢辺京子
- 11:20 A29 東日本大震災の被災地における蚊のウイルス保有状況に関する調査
○江尻寛子, 伊澤晴彦, 津田良夫, 鋤田龍星, 石田恵一, 小林睦生, 佐々木年則, 沢辺京子
- 11:30 A30 東日本大震災の津波被災地における疾病媒介蚊の発生状況:宮城県南部水田地帯と福島県2地域における2012年の調査結果
○津田良夫, 石田恵一, 山内 繁, 新妻 淳, 助廣那由, 梅澤昌弘, 柳 大樹, 岡本徳子
- 11:40 A31 2種の誘引トラップによるトコジラミの捕獲調査
○木村悟朗, 池尻幸雄, 足立雅也, 芳村健治, 岩本和哉, 谷川 力
- 11:50 A32 ビテロジェニン遺伝子のRNAiによるトコジラミの繁殖阻害
森山実, 細川貴弘, 棚橋薫彦, ○深津武馬
- 12:00 A33 クマネズミ2系統(新宿系統, 小笠原系統)の警戒心の比較
○谷川 力・春成常仁・富岡康浩・木村悟朗

B会場

- 9:00 B18 アタマジラミにおける塹壕熱病原菌 *Bartonella quintana* 遺伝子保有調査
○沢辺京子, Arlene G. Bertuso, 佐々木年則, 葛西真治, 富田隆史, 小林睦生
- 9:10 B19 最近のシラミ媒介性細菌 *Bartonella quintana* 疫学研究
○佐々木年則, 久保田真由美, 澤邊京子, 平山幸雄, 鋤田龍星, 伊澤晴彦, 針原重義, 柴山恵吾, 小林睦生
- 9:20 B20 ケジラミのピレスロイド系駆除剤感受性に関する調査
○駒形 修, 尾上泰彦, 古林敬一, 葛西真治, 糸川健太郎, 富田隆史
- 9:30 B21 2010年以降に愛知医科大学で相談を受けたマダニ刺症
○角坂照貴, 鹿野由紀子, 渡邊敦子, 高濱英人, 高間弘道, 清島真理子
- 9:40 B22 富山県のイヌとネコから得たマダニ類とノミ類
○山内健生, 名古屋真弓, 渡辺 護, 滝澤剛則
- 9:50 B23 タカサゴキララマダニ刺症に伴う遊走性紅斑: Tick-associated rash illness
○夏秋 優, 高田伸弘, 川端寛樹, 佐藤 梢, 高野 愛, 安藤秀二
- 10:00 B24 ヤマアラシチマダニ若虫体内における紅斑熱リケッチアの存在様式—ベクターとしての検証
○矢野泰弘, 高田伸弘, 藤田博己, 御供田睦代, 安藤秀二
- 10:10 B25 札幌市周辺の犬の抗ボレリア抗体保有状況調査
○池川晃世, 藤塚淳史, 前谷茂樹, 松本高太郎, 市川康明, 猪熊 壽
- 10:20 B26 犬・猫に寄生するシュルツェマダニの *Borrelia garinii* 保有状況調査
○岩上慎哉, 市川康明, 田井貴子, 松本高太郎, 猪熊 壽
- 10:50 B27 紅斑熱群リケッチアのアルカリ抽出多糖抗原を用いた ELISA によるヒト血清のスクリーニングテスト—タイ国で採集されたヒト血清について。
○及川陽三郎, 高田伸弘, 矢野浩司, 山本正悟
- 11:00 B28 マダニの卵黄形成に対する TOR 経路の阻害による影響
手島悠之, 荻原麻理, ○DeMar Taylor
- 11:10 B29 西日本域としての福井県で初確認されたシモコシ型恙虫病の感染環調査 2012年
○高田伸弘, 矢野泰弘, 池ヶ谷諭史, 岩崎博道, 山本正悟, 藤田博己, 石畝 史
- 11:20 B30 *Orientia tsutsugamushi* と宿主細胞の相互関係 — NFκB の増殖への役割 —
○粕谷志郎, 角坂照貴
- 11:30 B31 ワクモ *Dermanyssus gallinae* の電位依存性ナトリウムチャンネルにおけるピレスロイド耐性関連アミノ酸変異の同定
○西本鉄平, 村野多可子, 小川恵実香, 宇野有紀子, Chu Thi Thanh Huong, 笛吹達史, 山口剛士
- 11:40 B32 養鶏場におけるワクモ *Dermanyssus gallinae* モニタリング法の検討
○荻野和正, 小高真紀子, 鹿田充孝, 福原絵里子, 浅田研一, 金子國男, 金澤 保
- 11:50 B33 お好み焼き粉でのヒョウヒダニの繁殖と経口摂取による即時型アレルギー
○橋本知幸, 神崎美玲, 眞壁 郁, 飯島茂子
- 12:00 B34 紫外線照射に対するケナガコナダニの反応
○橋本知幸, 木村悟朗

学生ホール

13:30-16:00 シンポジウムⅡ 酪農・畜産と衛生動物学—今何が問題か—

座長 岩佐光啓 (帯広畜産大・昆虫)

13:35 S21 ヌカカとウシの異常産

梁瀬 徹 (農研機構動物衛生研究所)

13:55 S22 放牧施設における昆虫駆除対策と牛乳頭腫症防除効果

畠間真一 (動物衛生研究所 寒地酪農衛生研究領域)

14:15 S23 アブにより伝播される地方病性牛白血病

○村上賢二¹, 小林創太², 筒井俊之², 平田統一¹ (1岩手大学, 2動物衛生研究所)

14:35 S24 マダニとウシの小型ピロプラズマ症

猪熊 壽 (帯広畜産大学臨床獣医学研究部門)

14:55 S25 酪農・畜産分野における衛生動物とその防除—特に動物用医薬品をめぐる最近の諸問題—

岩佐光啓 (帯広畜産大・昆虫)

15:15 総合討論

16:00 終了